

2018 年 7 月 12 日
スカパーJSAT 株式会社
東日本電信電話株式会社
西日本電信電話株式会社

光回線を使ったテレビサービスにおける新 4K8K 衛星放送対応の実現について

スカパーJSAT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長 高田真治、以下スカパーJSAT）、東日本電信電話株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 井上福造、以下 NTT 東日本）および西日本電信電話株式会社（本社：大阪府大阪市中央区、代表取締役社長 小林充佳、以下 NTT 西日本）は、BS デジタル放送/110 度 CS デジタル放送（以下 BS/110 度 CS）による超高精細度テレビジョン放送（以下「新 4K8K 衛星放送」）につぎまして、光回線を使ったテレビサービス（「フレッツ・テレビ」等^{※1}）において、2018 年 12 月より順次提供開始する BS 右旋 4K 放送に加え、2019 年夏以降、BS/110 度 CS 左旋 4K・8K 放送を新たに提供開始する予定です^{※2}。これにより、NHK の 8K チャンネルを含む 10 チャンネル以上が新たに視聴可能となります。

※1：本リリースにおいては、「フレッツ・テレビ」または、光コラボレーション事業者が提供するテレビサービス^{*1}、ならびにスカパーJSAT が集合住宅向けに提供する再送信テレビサービス（アンテナの代わり^{*2}に光回線を用いて地上/BS デジタル放送等を視聴可能なサービス）を、『「フレッツ・テレビ」等』と呼称いたします。

「フレッツ・テレビ」は NTT 東日本、NTT 西日本が提供する「フレッツ・テレビ伝送サービス」と、スカパーJSAT が提供する放送サービス「スカパーJSAT 施設利用サービス」を契約することにより、地上/BS デジタル放送などを受信することが可能となるサービスです。「フレッツ・テレビ」のご利用には、「フレッツ光」等の契約・料金が別途必要です。

*1 光コラボレーション事業者におけるテレビサービスの取扱い有無につきましては、以下のサイトでご確認ください。

◇NTT 東日本 <https://flets.com/collabo/list/>

◇NTT 西日本 <https://flets-w.com/collabo/list/index.php>

*2 地上/BS デジタル放送に対応したテレビまたはチューナーが必要です。また、アンテナで視聴可能な番組が一部受信できない場合があります。

※2：「フレッツ・テレビ」等における提供についてはスカパーJSAT が各放送局より再放送同意を得る必要があり、今後各放送局と協議調整してまいります。

1. 背景

スカパーJSAT、NTT 東日本および NTT 西日本は、2008 年より「フレッツ・テレビ」を提供してまいりました。2015 年 2 月には光コラボレーションモデルによる提供を開始し、光コラボレーション事業者が提供するテレビサービスを含め 2018 年 6 月末時点において、約 163 万契約（NTT 東日本：約 100 万契約、NTT 西日本：約 63 万契約）となりました。

一方、2018 年 12 月には BS/110 度 CS による「新 4K8K 衛星放送」が開始されます。総務省の「4K・8K 推進のためのロードマップ」^{※3}においては、「2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の数多くの中継が 4K・8K で放送されている」などを目標としており、これを受けて、放送

事業者・家電メーカー等が連携し、必要な取り組みが進められています。

これらを踏まえ、スカパーJSAT、NTT 東日本および NTT 西日本は 2017 年 11 月に BS 右旋 4K 放送への対応について報道発表※⁴を行い、その後さらなる検討を経て、BS/110 度 CS 左旋 4K・8K 放送への対応を決定いたしました。

※3: 出典:総務省「4K・8K ロードマップに関するフォローアップ会合 第二次中間報告 参考資料」

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu11_02000058.html

※4: ニュースリリース:2017 年 11 月 16 日「フレッツ・テレビ」等における BS 右旋 4K 放送への対応について

◇スカパーJSAT https://www.sptvjsat.com/load_pdf.php?pTb=t_news_&pRi=1041&pJe=1

◇NTT 東日本 https://www.ntt-east.co.jp/release/detail/20171116_01.html

◇NTT 西日本 <https://www.ntt-west.co.jp/news/1711/171116b.html>

2. 提供予定チャンネル

BS/110 度 CS 左旋 4K・8K 放送のチャンネル

チャンネル名	「フレッツ・テレビ」等での 提供開始予定日※ ⁶	(参考) 実用放送開始予定日
映画エンタテインメントチャンネル※ ⁵	2019 年夏以降	2018 年 12 月 1 日
シヨップチャンネル 4K		
4K QVC		
NHK BS8K※ ⁵		
J SPORTS 1 (4K) ※ ⁵		
J SPORTS 2 (4K) ※ ⁵		
J SPORTS 3 (4K) ※ ⁵		
J SPORTS 4 (4K) ※ ⁵		
日本映画+時代劇 4K※ ⁵		
スターチャンネル※ ⁵		
スカチャン 1 4K※ ⁵		
スカチャン 2 4K※ ⁵		
WOWOW※ ⁵ (2020 年チャンネル名発表予定)	2020 年 12 月 1 日以降	2020 年 12 月 1 日

(参考)BS 右旋 4K 放送のチャンネル

チャンネル名	「フレッツ・テレビ」等での 提供開始予定日※ ⁶	(参考) 実用放送開始予定日
NHK BS4K※ ⁵	2018 年 12 月 1 日	2018 年 12 月 1 日
BS朝日 4K		
BS-TBS 4K		
BSジャパン 4K		
BSフジ 4K		
BS日テレ 4K	2019 年 12 月 1 日	2019 年 12 月 1 日

※5: 視聴には放送事業者との契約および受信料・視聴料等が必要です。

※6: 提供チャンネルにつきましては、今後変更となる可能性がございます(一部チャンネルを提供できない可能性があります)ので、2019年夏以降の提供開始に向け改めてご案内いたします。また、チャンネル名称は変更される場合があります。

3. 「新 4K8K 衛星放送」の提供条件

(1) 提供エリア

「新 4K8K 衛星放送」を視聴可能なエリアは、「フレッツ・テレビ」等の提供エリアと同様です。

(2) 提供料金

2018年12月1日からの「フレッツ・テレビ」等のご利用料金※7

月額利用料※8	サービス名	料金
	「テレビ視聴サービス」※9利用料	300円/月(税抜)
	「フレッツ・テレビ伝送サービス」等の利用料	提供事業者により異なります。
(2019年夏以降)BS/110度CS左旋4K・8K放送を視聴する場合		
	『専用アダプター』レンタル料	具体的な料金については、別途ご案内いたします。

※7: 本料金は、現在「フレッツ・テレビ」等をご契約中のお客さまを含む全てのお客さまのご利用料金となります。料金の詳細に関しましてはスカパーJSAT からのお知らせにてご確認ください。

https://oshirase.skyperfectv.co.jp/general/release_20180712.pdf

※8: 別途、「フレッツ・テレビ」等の初期費用および「フレッツ光」または光コラボレーション事業者が提供する光アクセスサービスの初期費用、月額利用料が必要です。また、本料金にはNHK受信料およびスカパー！等の有料チャンネルの視聴料は含んでおりません。

※9: 「フレッツ・テレビ」または光コラボレーション事業者が提供するテレビサービスにおいて必要となる放送サービス、ならびにスカパーJSAT が集合住宅向けに提供する再送信テレビサービスです。なお、スカパーJSAT は「新 4K8K 衛星放送」の提供に伴い、2018年12月に『スカパーJSAT 施設利用サービス』に関連するサービス名称等を『テレビ視聴サービス』に改称いたします。

(3) 必要となる機器

現在、「フレッツ・テレビ」等を利用して BS/110 度 CS 放送を視聴しているお客さまは、次のいずれかの対応機器を用いることで、「新 4K8K 衛星放送」を新たに視聴できるようになります。

・テレビ本体で「新 4K8K 衛星放送」を受信可能な 4K テレビ

・「新 4K8K 衛星放送」対応のチューナー※10 と、4K 対応テレビ・8K 対応テレビ※11※12 の組合せ

また、「フレッツ・テレビ」等でBS/110度CS左旋4K・8K放送を視聴する場合は、上記に加え、スカパーJSATより提供予定の簡易な『専用アダプター』が必要です。

※10: 「新 4K8K 衛星放送」の開始に合わせて発売が見込まれています。

※11: 4K 対応テレビ・8K 対応テレビには、「新 4K8K 衛星放送」を受信する機能は搭載されていません。「新 4K8K 衛星放送」を受信するには、新しい規格に対応した受信機(テレビ、チューナー等)が必要になります。

※12: NHK の 8K チャンネルを視聴する場合は、8K 放送に対応した機器(テレビ・チューナー)が必要です。

4. 提供方式と特長

(1) 提供方式

BS/110 度 CS 左旋 4K・8K 放送は、周波数変換パススルー※13によって提供します。周波数変換パススルーとは、放送事業者（スカパーJSAT 等）の設備で受信した映像信号を放送周波数とは異なる周波数に変換して伝送する方式で、変換した周波数を『専用アダプター』を利用してお客さま宅内で元の周波数に戻すことで、視聴できるようになります。

(2) 特長

テレビのすぐ手前に『専用アダプター』を取り付けることで直前の同軸配線までは現状の「フレッツ・テレビ」等と同じ周波数帯域を利用できるため、戸建て住宅、集合住宅にかかわらず、お客さま宅の屋内設備を大幅に変える必要なく導入いただけます。

※13: 「パススルー®」は、マスプロ電気株式会社の登録商標です。

5. 各社の主な役割

◇スカパーJSAT

放送サービス「テレビ視聴サービス」の提供

◇NTT 東日本、NTT 西日本

「テレビ視聴サービス」の伝送に必要な電気通信サービス「フレッツ光」および「フレッツ・テレビ伝送サービス」の提供（光コラボレーションモデルにおける提供を含む）。

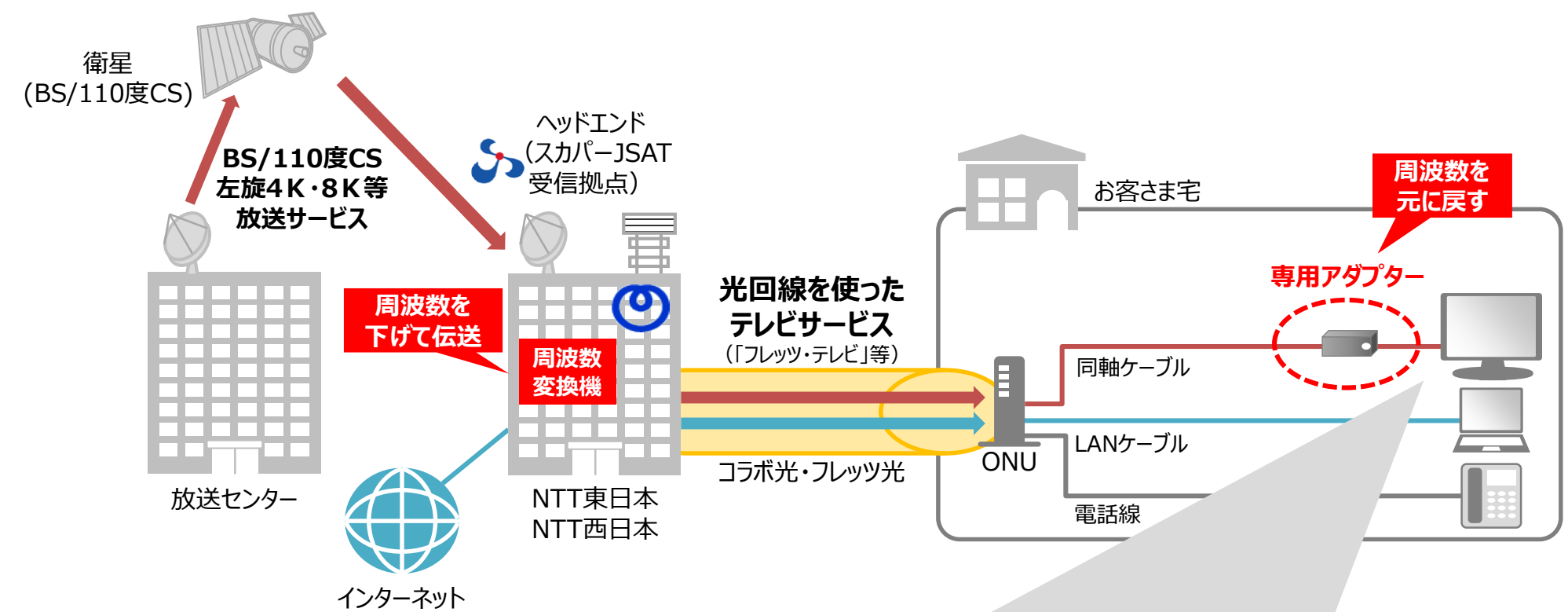
6. 今後の展開

「新 4K8K 衛星放送」開始によるテレビ需要拡大が見込まれるなか、スカパーJSAT と NTT 東日本、NTT 西日本は今後も 3 社で連携し、より多くのお客さまに高精細・高画質で豊かな映像視聴環境をお届けできるよう、サービスの充実に努めてまいります。

【別紙 1】サービス利用イメージ

【別紙 2】視聴可能チャンネル（予定）

BS/110度CS左旋4K・8K放送



■ BS/110度CS左旋4K・8K放送の視聴に必要な機器※（2019年夏以降に視聴 possible の予定）

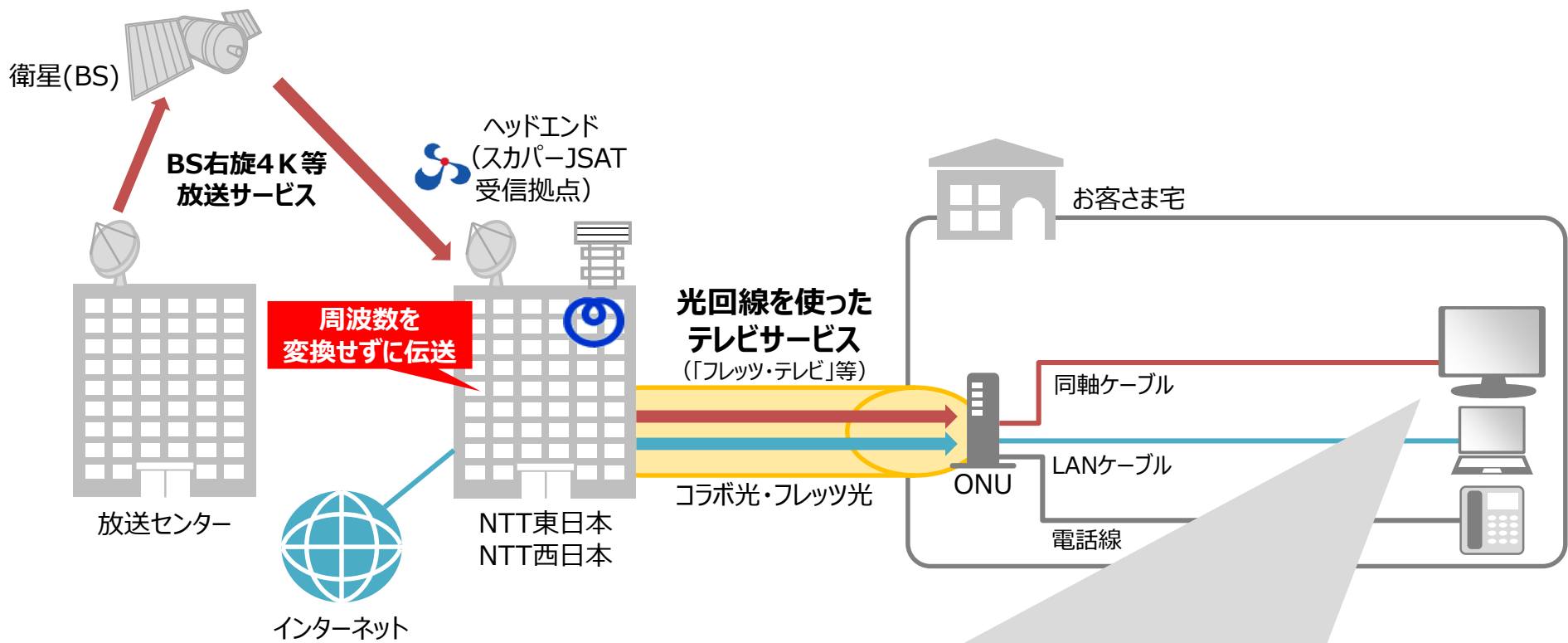
(1) テレビ本体で「新4K8K衛星放送」を受信可能な
4Kテレビ + 専用アダプター

(2) 「新4K8K衛星放送」対応のチューナーと
4K対応テレビ・8K対応テレビの組み合わせ + 専用アダプター



※ NHKの8Kチャンネルを視聴する場合は、8K放送に対応した機器（テレビ・チューナー）が必要です。

（参考）BS右旋4K放送



■ BS右旋4K放送の視聴に必要な機器（2018年12月より順次視聴 possible の予定）

(1) テレビ本体で「新4K8K衛星放送」を受信可能な4Kテレビ



(2) 「新4K8K衛星放送」対応のチューナーと4K対応テレビの組み合わせ

または



【別紙2】視聴可能チャンネル（予定）

	地デジ等	BS右旋		110度CS右旋	BS左旋	110度CS左旋
現状	6～11ch※1	30ch※2	スカパー！	54ch※3	-	-
			15ch※2			

2018年 12月より 順次	5～10ch※1※4	2017年11月の報道発表対象		56ch※3	-	-
		36ch	4K 6ch※5※7	スカパー！ 15ch※2		

2019年 夏以降	5～10ch※1※4	36ch	4K	スカパー!	56ch※3	4K	8K	4K	
			10ch以上※6※7						
			6ch※5※7	15ch※2					

◎ 上記に加えて、スカパー！プレミアムサービス光のチャンネルについても視聴可能です。詳しくは下記URLをご確認ください。
https://www.skyperfectv.co.jp/channel/premium_hikari/list.html

※1：提供エリアにより異なります。詳しくは右記URLをご確認ください。 <東日本エリア： <https://flets.com/ftv/channel.html>> <西日本エリア： <https://flets-w.com/ftv/special/channellist.html>>
※2：詳しくは右記URLをご確認ください。 https://www.skyperfectv.co.jp/hikari/guide_home/channel/broadcast.html
※3：詳しくは右記URLをご確認ください。 <https://www.skyperfectv.co.jp/channel/list.html> （2018年夏以降、新たに2チャンネル開局予定。）
※4：2018年9月30日に放送大学テレビ（地デジ）の放送終了が予定されています。
※5：詳しくは下記URLをご確認ください。
◇スカパーJSAT https://www.sptvjsat.com/load_pdf.php?pTb=t_news_&pRi=1041&pJe=1
◇NTT東日本 https://www.ntt-east.co.jp/release/detail/20171116_01.html
◇NTT西日本 <https://www.ntt-west.co.jp/news/1711/171116b.html>
※6：提供チャンネルにつきましては今後変更となる可能性がございます。
※7：光回線を使ったテレビサービス（「フレッツ・テレビ」等）における提供については、スカパーJSATが各放送局より再放送同意を得る必要があり、今後各放送局と協議調整してまいります。
（2018年7月12日現在の情報です）